

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	4-4-1		事業名	自主防災活動の推進
担当	危機管理対策室危機管理対策部危機管理対策課 佐々木 211-3062			
全体計画				
事業内容	大規模災害時における地域の災害対応力を高めるため、地域に密着した基礎的コミュニティである単位町内会等を自主防災活動の主体と位置づけ、その活動支援を行う。 自主防災資機材の助成(災害時の消火、救出、救護用) 防災リーダー研修(中心的リーダーを区・消防署が協力して育成) 防災表彰(防災活動に功績のあった団体を市長表彰により顕彰) 自主防災セミナー(防災リーダー研修の上級研修として開催)		<年度別の事業内容> 平成19年度から平成22年度の間、同一内容にて実施の予定	
事業内容	平成19年度事業内容(決算) 自主防災資機材の助成(災害時の消火、救出、救護用) 自主防災活動推進のための支援として、防災資機材90セット購入 防災リーダー研修(中心的リーダーを区・消防署が協力して育成) 組織・人に対する支援として、自主防災活動の中心的な役割を担う防災リーダーを養成するための研修会を実施(各区及び各消防署)。 平成19年度実施回数及び受講者数 18回 / 1033名 防災表彰(防災活動に功績のあった団体を市長表彰により顕彰) 平成20年1月29日 市内11団体を表彰 自主防災セミナー(防災リーダー研修の上級研修として開催)と同日開催(表彰式終了後) 自主防災組織活動の支援及び活性化をはかるため、防災に係る機関より講師を招き講演を実施。併せて、今回表彰された団体より、活動内容の報告を実施。		平成20年度事業内容(決算) 自主防災資機材の助成(災害時の消火、救出、救護用) 自主防災活動推進のための支援として、防災資機材90セット購入 防災リーダー研修(中心的リーダーを区・消防署が協力して育成) 組織・人に対する支援として、自主防災活動の中心的な役割を担う防災リーダーを養成するための研修会を実施(各区及び各消防署)。 平成20年度実施回数及び受講者数 17回 / 882名 防災表彰(防災活動に功績のあった団体を市長表彰により顕彰) 平成21年1月15日 市内10団体を表彰 自主防災セミナー(防災リーダー研修の上級研修として開催)と同日開催(表彰式終了後) 自主防災組織活動の支援及び活性化をはかるため、防災に係る機関より講師を招き講演を実施。併せて、今回表彰された団体より、活動内容の報告を実施。	
	事業内容	平成21年度事業内容(決算) 自主防災資機材の助成(災害時の消火、救出、救護用) 自主防災活動推進のための支援として、防災資機材85セット購入 防災リーダー研修(中心的リーダーを区・消防署が協力して育成) 組織・人に対する支援として、自主防災活動の中心的な役割を担う防災リーダーを養成するための研修会を実施(各区及び各消防署)。 平成21年度実施回数及び受講者数 22回 / 1,071名 防災表彰(防災活動に功績のあった団体を市長表彰により顕彰) 平成22年1月15日 市内10団体を表彰 自主防災セミナー(防災リーダー研修の上級研修として開催)と同日開催(表彰式終了後) 自主防災組織活動の支援及び活性化をはかるため、講師を招き講演を実施。		平成22年度事業内容(予算) 自主防災資機材の助成(災害時の消火、救出、救護用) 自主防災活動推進のための支援として、防災資機材を助成 平成22年度助成予定数 40セット程度 防災リーダー研修(中心的リーダーを区・消防署が協力して育成) 組織・人に対する支援として、自主防災活動の中心的な役割を担う防災リーダーを養成するための研修会を実施(各区及び各消防署)。 平成22年度実施予定回数及び予定受講者数 16回 / 800名 防災表彰(防災活動に功績のあった団体を市長表彰により顕彰) 平成23年1月 市内10団体程度を表彰予定 自主防災セミナー(防災リーダー研修の上級研修として開催)と同日開催(表彰式終了後)予定 自主防災組織活動の支援及び活性化をはかるため、防災に係る機関より講師を招き講演を実施予定。 自主防災活動活性化のためのワークショップを開催 特定の1区を対象に、地域の自主防災組織の代表者等数名に、有識者を進行役として招き、ワークショップ形式で4回程度行いたい。 防災普及用DVDの作成・貸与 地域防災計画見直しの成果を市民にわかりやすく届けるために、札幌の想定地震や被害想定、浸水想定など、札幌の地域特性や想定される災害・被害を理解しやすく実感しやすい映像で示すのが効果的であることから、「各種災害の知識と備え(DISC 1)」、「自主防災活動の活性化(DISC 2)」を作成し、各単位町内会や自主防災組織に貸し出す。
場所				
規模				
件数				

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	4-4-1			事業名	自主防災活動の推進		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)	
防災リーダー研修への参加者数	750人	1,033人	882人	1,071人	800人	800人	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 過去に、防災表彰された自主防災組織が中心となって結成された市民防災団体連合会(市内の自主防災組織61団体が加盟)と、平成18年度より、防災表彰式終了後に、自主防災セミナーを共同開催</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] (該当なし) [人材協力] (該当なし) [情報協力] (該当なし) [その他の協力] (該当なし) 市民・企業等が参加しやすい環境づくり</p>							
評価(成果)				課題			
<p>平成21年度は、自主防災資機材の助成として、防災資機材85セット購入</p> <p>防災リーダー研修 平成21年度は、10区で合計22回実施し、当初目標とする受講者800人を上回った。</p> <p>防災表彰(防災活動に功績のあった団体を市長表彰により顕彰) 平成22年1月15日 市内10団体を表彰</p> <p>自主防災セミナー(防災リーダー研修の上級研修として開催) 講師による講演を行った。</p>				<p>資機材が自主防災活動に利活用されるような工夫、啓発が必要</p> <p>防災リーダー研修のカリキュラム見直し</p> <p>自主防災セミナーにおいて、過去に表彰された団体等が培ったノウハウ等の発信、共有の継続的な実施</p>			
今後の事業の予定・方向							
<p>自主防災組織の活動に併せて、地域の企業、人材などの協力等を得ることによる、総合的な地域力の向上を試みる。また、既に先進的な取り組みを進める団体の活動事例の紹介を通じて、知識等の共有化による、全市的な取り組みレベルの底上げを図る。</p>							

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		4-4-1			事業名	自主防災活動の推進				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	18,000	18,000	18,000	18,000	72,000				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0			
		市の債	0	0	0	0	0			
		その他の	0	0	0	0	0			
		一般財源	18,000	18,000	18,000	18,000	72,000			
予算	事業費	18,000	18,000	18,000	9,900	63,900				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0			
		市の債	0	0	0	0	0			
		その他の	0	0	0	0	0			
		一般財源	18,000	18,000	18,000	9,900	63,900			
実績	事業費	16,704	17,199	16,244	-	50,147				
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0		0			
		市の債	0	0	0		0			
		その他の	0	0	0		0			
		一般財源	16,704	17,199	16,244		50,147			
事業費の進捗率		(H19実績 + H20実績 + H21実績 + H22予算事業費) / (計画事業費)				83.4%				
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
(全体)										
[19年度]防災資機材(90セット)の購入費用として、18,000千円を計上し、16,704千円で落札										
[20年度]防災資機材(90セット)の購入費用として、18,000千円を計上し、17,199千円で落札										
[21年度]防災資機材(90セット)の購入費用として、18,000千円を計上し、85セット分を16,244千円で落札										
[22年度]防災資機材(90セット)の購入費用18,000千円の代わりに、ワークショップの開催と防災普及用DVDの作成等として、9,900千円を計上した。										